第70次福井県学力調査(SASA2021)について

1 調査目的

県内の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への学習支援の充実、学習状況の改善等に役立てる。

2 調査対象

小学校第5学年 約6,700名

(ろう学校、福井特別支援学校、福井大学附属義務教育学校前期課程を含む188校)

中学校第2学年 約7,000名

(高志中学校、盲学校、ろう学校、福井大学附属義務教育学校後期課程を含む79校)

3 調査実施期間

令和3年12月8日(水)小学校(国語、算数) 中学校(国語、英語、数学) 9日(木)小学校(社会、理科) 中学校(社会、理科)

※各学校において、この2日間内に校時を決定して実施する。

※調査時間は、小学校45分、中学校50分。

4 調査の内容

(1) 基礎力問題

学習した知識や技能が確実に習得されているかを問う問題

(2)活用力問題

学習した基礎的な知識や技能を活用する力を問う問題

日常生活など様々な場面で適用して解決する力を問う問題

※従来、本調査と同時に実施していた生活や学習、学級に関するアンケート調査は、紙媒体での調査からタブレット端末等を使用した調査に移行し、別日程で 実施する。(今年度は、令和3年11月15日(月)から26日(金)に実施)

5 調査結果の活用

(1) 結果データ、分析速報、報告書の提供

「結果データ」と良好な点や課題等を示した「分析速報」を、1月中旬に各学校へ提供する。また、より具体的な授業改善案等を記載した「報告書」を、2月中に教育総合研究所のホームページに掲載する。

(2)調査のポイントの活用

設問ごとの出題の意図や学習支援の留意点を明記した「調査のポイント」を、12月 の調査実施前に学校へ配付し、問題分析や結果データを基にした授業改善に役立てる。

(3) 要請に応じた研修の実施

小中学校からの要請による授業改善のための訪問型研修を、1月下旬より実施する。

(4) オンライン研修の実施

小中学校の教員を対象とした結果分析および課題解決に向けた授業改善等に関する 研修を、2月上旬にオンラインで実施する。

(5) 自己評価の実施

調査終了後、児童生徒による振り返りを実施する。